

オンライン研究会における発表者・聴講者ガイドライン

- (1) 著作権保護の観点から、オンライン研究会にて配信される発表映像の写真撮影，録画，録音は絶対に行なわないで下さい。
- (2) 聴講参加用（接続先）URL を第 3 者に知らせないで下さい。
※参加申込者以外の方が研究会に入室された場合は，管理者側で削除いたします。
- (3) プログラム上に掲載された◎あるいは○印の方が発表することを想定しています。共著者等が代理で発表することも可能ですが，その際は発表当日，座長までお知らせ下さい。
- (4) オンライン研究会は zoom システムを使用します。発表申込および聴講参加申込頂いたメールアドレス宛に接続先 URL を送付します。参加者は受信したメールの URL をクリックすることにより，お申込された研究会に参加できます。
- (5) 研究会へは，zoom アプリケーションまたはお使いのブラウザ（Google Chrome 推奨）から参加できます。zoom アプリケーションを初めて使用する場合はインストールが必要となります。接続先 URL（セッションごとに以下の例のような URL となります。）
例：<https://zoom.us/j/XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX>
参加の際には，「コンピューターでオーディオに参加」を選んで下さい。
- (6) 聴講者の設定として，ビデオ映像をオン，音声をミュートにしてください。
（管理者側にて音声ミュートに設定をすることがあります。）
- (7) オンライン研究会に参加する前（または開催中）にマイク／スピーカーをテストすることができます。初めて使用される方は以下から接続のテストをお勧めします。
<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083>
- (8) 誰が発表者で誰が聴講者かを座長の方で識別しやすくするため，参加者名を下記の例に従って氏名・所属の情報を含むように設定して下さい。会議室に接続後でも変更可能です。
発表者の例： 発表者_電気花子_△△大学
座長の例： 座長_電気太郎_〇〇大学
聴講者の例： 電気次郎_□□株式会社
- (9) 質疑など発言されたい場合は，チャットで意思表示するか，参加者画面で挙手をお願いします。座長の指名の後，マイクのミュートを解除し，必要に応じて所属と名前を名乗ってから発言し，発言後は再度ミュートをオンして下さい。参加者数が多い場合，挙手機能は使用せず，座長に一任することもあります。

発表者へのご案内

- (1) 発表時には画面の共有ボタンを押し、スライドを提示して発表下さい。発表用アプリケーションを起動後、**zoom** の「画面を共有」で該当アプリケーションを選択して下さい。



2020.6.18

電気学会基礎・材料・共通部門
研究調査運営委員会幹事団

- (2) 発表、質疑応答が終わりましたら、「共有の停止」ボタンを押して下さい。画面共有できるのは1人のみとなりますので、次の発表者へお譲り下さい。



- (3) 発表、質疑終了後はマイクをミュートにして下さい。

zoom システムのアプリケーションのインストールについて

zoom でのオンライン研究会はアプリケーションをインストールするか、ブラウザから参加する方法があります。zoom マニュアル：<https://zoomy.info/manuals/>



<https://zoom.us>

アプリケーションは zoom の web ページからダウンロードし、インストールします。

zoom は最新版でないと使えない機能があるだけでなく、セキュリティ強化も含め最新のバージョンにアップデートをお願いいたします。アプリケーションをインストール済みであっても、アップデートをご確認いただき、研究会に参加下さいますようお願いいたします。

zoom のセキュリティに関する報道について

zoom のセキュリティについていくつかの報道がなされておりましたが、2020 年 6 月 16 日現在までに確認できた問題点については、すべて解決されております。一方、zoom bombing のように、zoom の機能に欠陥があると言うよりも使い方に注意を払う必要がある事象もございますので、発表、聴講される方は本ガイドラインを遵守いただきますようお願いいたします。また、上記のように**ソフトウェアを最新版にアップデートすることが重要**となります。

本学会研究会では、事前参加登録を行なうことにより個人を特定できるようにし、参加用 URL にパスワードをかけ、主催者側でも参加者の管理を徹底いたします。

ご所属先のご都合によりどうしても zoom でご発表できない場合、録画・録音したデータを研究会担当幹事宛に事前送付いただければ、代理で再生することができます。なお、質疑応答の際は個人のスマートフォンなど何らかの方法でご参加頂ければ幸いです。

共有資料等への配慮について

他人の著作物の無断使用とならないよう、引用として出典を明確にすることはもちろんのこと、学会でのオンラインでのご発表は自動公衆送信による再送信と見なされることを踏まえた内容の事前確認が必要となります。考慮すべき開示範囲は、研究会に参加できる者の範囲によっても変わりますので、主催者へお問い合わせ下さい。輸出管理令に抵触する場合などでは、オンラインでの配信が許可されないこともあるので、発表者におかれましては十分ご注意下さいますようお願い申し上げます。